



◇◇◆◆◇◇◇ 国際通貨研究所メールマガジン（第 20 号 2013/11/12 発行）

◆◆◇◇◇ Institute for International Monetary Affairs (IIMA)



<http://www.ima.or.jp/>



※本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

■ 理事長 行天豊雄の著書「円の興亡」出版の御案内 ■

このたび弊研究所理事長行天豊雄の著書「円の興亡」が出版されました。

これは本年 4 月から 6 月まで朝日新聞に「円－歴史と未来」というタイトルで 10 回にわたり連載されたインタビュー記事をもとに大幅に加筆され出版されたものです。ニクソンショック以降の通貨体制の歴史をふり返り、通貨外交や国際金融の現場での経験を、ルーブル合意等の舞台裏なども含めまとめてあります。またそれに加え、中国の台頭と人民元の国際化が今後の国際通貨体制に及ぼす影響や、日本経済の再生のための構造改革についての考えなども記されています。

書籍名： 『円の興亡 「通貨マフィア」の独白』

著者： 行天豊雄

出版社： 朝日新聞出版

定価： 1,700 円＋税

<http://www.amazon.co.jp/%E5%86%86%E3%81%AE%E8%88%88%E4%BA%A1-%E3%80%8C%E9%80%9A%E8%B2%A8%E3%83%9E%E3%83%95%E3%82%A3%E3%82%A2%E3%80%8D%E3%81%AE%E7%8B%AC%E7%99%BD-%E8%A1%8C%E5%A4%A9%E8%B1%8A%E9%9B%84/dp/4023312479>

1. 理事長 行天豊雄のコラム 『動き続ける中国』

中国情勢が興味深くなってきた。11月の三中全会を控えてさまざまな動きが出てきているからである。李克強路線で「成長より改革」が叫ばれ、過剰貸出し抑制が始められたら、これが意に反して六月には短期…

(株式会社マネーパートナーズへの寄稿)

(全文はこちらから)

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2013/20131112gyoten.pdf>

---

## 2. 龍谷大学 経済学部 教授 IIMA 客員研究員 竹中正治のコラム

「稀な出来事は原理的に予見困難

～NHK ドラマ『ハードナッツ』での確率論のお勉強～

NHKBS、日曜日夜のドラマ、「ハードナッツ、数学 ガールの恋する事件簿」(全8回、3回目終了)が面白くて見ている。主演の女優はNHK朝ドラ「アマちゃん」でユイちゃん役を演じた橋本愛(役名:難波くる…

(IIMA メールマガジンへの寄稿)

(全文はこちらから)

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2013/20131112takenaka.pdf>

## ■ 購買力平価グラフの更新

<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>

## ■ 今月の新着レポート

### 1. 「Possibility of Regional Cooperation between East Asia and Latin America : The Pacific Alliance a Key?」

10月7日公表のNewsletter「東アジア・中南米間の地域協力の可能性～太平洋同盟が鍵を握るか～」の英文版です。

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No\\_30\\_e.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No_30_e.pdf)

## 2. 「東アジア・中南米間の地域協力の可能性 ～太平洋同盟が鍵を握るか～」

東アジアと中南米には多くの新興・途上国が存在するため、自らの成長を確保し、経済・金融の外的ショックを和らげるうえで、貿易・投資の促進に資する経済連携の重要度は両地域ともに大きい。こうしたなか、仮に、東アジアと中南米との間で何らかの実行力を伴う地域協力の枠組みが誕生するとすれば、太平洋同盟が鍵を握る存在になるのではなかろうか。

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No\\_30\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No_30_j.pdf)

## 3. 「What makes Foreign Exchange Rates Fluctuate in Emerging Economies?

: Key is the net external investment position

9月30日公表の「新興国の為替変動要因についての一考察～重要なネット対外投資ポジションの状況～」の英語版です。

[http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No\\_29\\_e.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NL2013No_29_e.pdf)

### ■ 今週のキーワード

★太平洋同盟

レポートに関連する専門用語の参照はこちらから

<http://www.iima.or.jp/Docs/keyword/keyword.pdf>

### ■ 今月の IIMA

早いもので2013年も残すところあと2カ月を切りました。当研究所では、現在、下半期に受注した外部期間からの受託調査も本格化し、研究員一丸となって調査を進めているところです。

10月より当研究所ではIIMA Global Market Volatility Index (IIMA-GMVI)の作成および公表を始めました。これは過去の株式相場、債券相場、外国為替相場のデータから足元のグローバルの金融資本市場のリスクストレス度を算出し、指数化したものです。

当研究所が主としている経済統計やマクロ経済理論に基づいた調査研究に加えて、IIMA-GMVIのような経済のファンダメンタルズではなく投資家心理に焦点を置いた指数を見ることも、世界の経済や金融資本市場の現状を把握する上で有用ではないかと考えています。

所属研究員による調査レポートや購買力平価に次ぐ、当研究所ホームページの目玉にしたいと考えておりますので、是非チェックしてみてください。

---

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2013年12月10日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

[admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

◇発行◇\*\*\*\*\*

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

\*\*\*\*\* Copyright (C) IIMA All Rights Reserved. \*\*\*\*\*